

令和４年度 １人１台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立井原高等学校	
実践者等		井谷 勇哉	実践日 令和４年４月２６日
実践場面 （教科・科目（単元名）、学校行事等）		教員研修（希望者）	
対象生徒（学年等）		教員（希望者）	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☐ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化	
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用	
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化	
		■ その他（教職員研修）	
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着	
実践の内容			
【実施形態】 ・ 放課後の３０分を利用。 ・ GIGA スクール推進委員が中心となり実施。 ・ 教員が生徒役になり、Meet でオンライン授業を行う設定での研修。 ・ 生徒役、参観の教員含め２０名程度参加。 【内容】 ①授業開始時の Meet への接続方法、生徒への連絡方法、Meet 接続時の出席確認の方法について演習する。 ②黒板使用時、プリント使用時、スライド使用時の授業方法について、画面共有などを実際に示しながら紹介する。 ③Classroom での課題の投稿の仕方、提出の仕方、提出された課題の扱い方について、画面共有で紹介する。 ④研修の感想を Forms で入力し、終了。 ⑤後日、Forms の回答結果をスプレッドシートに出力したものを共有した。   【振り返り】 実際に教員が生徒役になることで、端末の使用を体験するだけでなく生徒の気持ちも理解できたという前向きな感想をいただくことができた。受け手の立場になることで新たな発見や魅力に気付ける可能性を感じた。研修方法を工夫しながら教員全体のレベルアップを図っていきたいと考えている。			